

コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ(改修)

7.3.6 コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ

(2) 押出成形セメント板面及び8節[耐候性塗料塗り(DP)]におけるコンクリート面の素地ごしらえは表7.3.6による。ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

表7.3.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ

工 程	種 別		塗 料 そ の 他			面の処理
	A種	B種	規格番号	規格名称	種 類	
1 乾燥	○	○	—			素地を十分に乾燥させる
2 汚れ、付着物除去	○	○	—			素地を傷つけないように除去する
3 下地調整塗り (注)1	○	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1,C-2 CM-2又はE	全面に塗り付けて平滑にする
4 吸込み止め	○	○	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラー及び 弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー		全面に塗り付ける
5 パテしごき	○	—	JASS 18 M-202	反応形合成樹脂パテ	2液形エポキシ 樹脂パテ	全面をしごき取り平滑にする
6 研磨紙刷り	○	—	研磨紙P120~220			乾燥後、全面を平らに研磨する

(注) 1.押出成形セメント板面の場合は、工程3を省略する。

2.8節[耐候性塗料塗り(DP)]におけるコンクリート面の場合、工程3の建築用下地調整塗材のC-1、C-2又はCM-2の使い分けは、4.5.5[既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル塗り仕上外壁等の下地調整](ア)による。

3.工程4のシーラー及び工程5のパテは、上に塗り重ねる塗料の製造所の指定するものとする。

4. JASS 18 M-201及びM-202は、日本建築学会材料規格である。